

# シリコン オーデフレッシュSi100Ⅲ

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆

## 特長

つや有り、7分つや有り、  
5分つや有り、3分つや有り、  
つや消し<sup>※</sup>から選べます。

<sup>※</sup>つや消しについては、可とう形改修塗材RE、  
防水形複層塗材E/REの規格は適用できません。

- ① 高耐久性** 高耐候性シリコン系樹脂に最先端の1液水性反応硬化技術を組み合わせ  
当社独自の技術により、すぐれた耐久性を実現しました。
- ② 低汚染性** 親水化技術により外壁の美観を損なう雨垂れ汚染から建物をまもり、  
美しさを長持ちさせます。
- ③ 多彩な仕様** 各種外壁の塗り替えに幅広く適用できます。また各種下塗りを組み合わせ  
ることで、躯体のひび割れに対し、抜群の追従性、防水機能を発揮させる  
ことができます。
- ④ 防藻・防かび機能** 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- ⑤ オール水性システム** 下塗りから上塗りまで全て水性塗料での施工が可能です。  
取り扱いが安全で、低臭です。環境にやさしい水性塗料です。

### ■標準塗装仕様（塗り替え）

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希 釈 剤	希 釈 率 (%)	塗装方法
下 地 調 整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し、清掃する。						
下 塗 り	ニッペパーフェクトフィラー	1	0.20~0.45	4時間以上	水道水	3~8	ウールローラー 砂骨ローラー タイルガン <sup>※</sup>
			0.50~0.90			1~5 2~5	
上 塗 り	オーデフレッシュ Si100Ⅲ	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー はけ エアレススプレー

<sup>※</sup>ニッペパーフェクトフィラーをタイルガンで施工した場合ゆず肌になります。

\* 上記ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。  
(作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。)

\* 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

\* 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

\* 活膜は、健全な状態であることを想定しています。

\* 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

\* 吹付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。

\* 塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。

\* 新設時は下塗りにニッペ水性カチオンシーラーをご使用ください。

《適用下塗り塗料》		《適用下地》(塗り替え改修用)	
外 壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーフェクトサーフ</li> <li>・パーフェクトフィラー</li> <li>・DANフィラーエボ*</li> <li>・DANフィラーエボS*</li> <li>・DANフィラーリフレックス</li> <li>・水性カチオンシーラー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンダーフィラー弾性エクセル</li> <li>・DANタイル中塗Rホホワイト*</li> <li>・DANタイル中塗Sホホワイト*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モルタル面</li> <li>● コンクリート面</li> <li>● 窯業系サイディングボード</li> <li>● ALCパネル面</li> </ul>
			各種旧塗膜の上

\*つや消しは不可

ペイントかわら版  
読者募集!

登録無料  
いますぐご登録を。



<sup>※</sup>QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。  
<https://paintkwaraban.jp/form/>



# オーデフレッシュ Si100Ⅲ

## 塗料性状、荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
オーデフレッシュ Si100Ⅲ	各色	つや有り・7つや有り・5つや有り・3つや有り・つや消し	15kg	水道水	5~10%	0.14~0.17	はけ・ワールローラー・エアレススプレー

・上記の数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

## 乾燥時間


	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 暑熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、地下水の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品は、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが現れないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- 乾燥条件によっては、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れない場合があります。
- 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 塗装後、乾燥不十分な状態が降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、剥れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後は洗剤などはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物のけは、はけが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- 塗り替え時のシーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤剥れを発生させることがあります。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツ科科学社製HI500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペ パーフェクトNBシールを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥れなどが発生する場合がありますので、養生シーターの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認ください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び剛毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多くなる塩ビクロス、塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようによくかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓して速やかに冷蔵所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項

オーデフレッシュ Si100Ⅲ ホワイト		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"><li>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。</li><li>取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にすること。</li><li>この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。</li><li>環境への放出を避けること。</li><li>本来の用途以外に使用しないこと。</li><li>臭いが悪い時は、医師の診察/手当を受けること。</li><li>口をすすぐこと。</li><li>吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li><li>容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理すること。</li><li>施設して保管すること。</li><li>直射日光や水濡れは厳禁。</li><li>塗料等の缶の積み重ねは3段までとする。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>容器は、つり上げないこと。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意すること。（備荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険がある。）</li><li>塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。</li><li>内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。</li></ol>	
<b>危険</b>		<b>危険有害性情報</b> 長期にわたる、又は反復はく露による臓器の障害/水生生物に有害

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9320
東北支店 ☎022-232-6711	中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960	

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-A040

TY221013T

2022年10月現在